

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	342	施策	健康で安全な生活の確保
管理事業	医療・薬事業	所管部局	健康医療部

1	所管室課	地域保健課	事業名	保健所業務管理システム事業		
事業概要						
医療費助成システム等の管理						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
法改正対応等にかかるシステム改修及び保守を実施した。		決算額(千円)	2,653	9,012	8,769	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)	100.0	84.1	86.5	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
		国が求める令和7年度末までのシステム標準化並びに医療DXへ対応するため、健康情報管理システムの改修及び、他システムとの連携などの実施を予定。システムの更新やDX対応に応じた業務フローの見直しにマンパワーや専門性の高い職員の配置が必要。				今後の実施計画の方向性・内容 継続 現行の業務プロセスを見直し、必要十分なシステム導入を目指す。

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
		決算額(千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
						今後の実施計画の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	342	施策	健康で安全な生活の確保
管理事業	感染症対策事業	所管部局	健康医療部

1	所管室課	地域保健課	事業名	結核予防事業（感染症対策）		
事業概要						
結核患者への公費支援や療養指導、接触者への健康診断を実施するとともに、結核予防に関する啓発を行い、結核のまん延防止を図る。						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
1 結核患者への個別支援 (1) 結核患者への服薬支援（DOTS）件数（延べ） 結核患者が確実に服薬治療を完遂できるよう訪問指導を実施。 令和3年度…309件、令和4年度…260件、令和5年度…211件 (2) 結核患者への管理検診の実施件数 治療終了患者に対し病状把握を行うための検診を実施。 令和3年度…148件、令和4年度…137件、令和5年度…122件 (3) 接触者への健康診断の実施件数 結核患者の接触者に対してエックス線検査等の健康診断を実施。 令和3年度…230件、令和4年度…82件、令和5年度…175件 (4) 結核患者への医療費公費申請件数 令和3年度…通院60件入院59件、令和4年度…通院58件入院41件 令和5年度…通院60件入院54件 2 結核予防に関する取組 (1) 結核対策医療機関講習会の参加者数 令和3年度…106人、令和4年度…65人、令和5年度…82人 (2) 介護事業所等、市内関係機関へのリーフレット配付 令和3年度…106施設、令和4年度…85施設、令和5年度…94施設 (3) 結核患者治療成績評価検討会議の開催 令和3年度…4回、令和4年度…4回、令和5年度…4回		決算額 (千円)	20,404	16,212	16,927	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源 の 比率(%)	57.9	68.7	66.3	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		結核患者はその約7割が後期高齢者で福祉サービス利用中の方も多く、生活状況に合わせた服薬支援や接触者への健康診断等において、関係者の理解と協力を得つつ関係機関と密接な連携を図り実施することが重要である。また、新型コロナウイルス移行により入国制限が緩和されたことに伴い外国生まれの結核患者の増加が予想されることや、結核患者減少に伴い治療経験のある医療機関が減少していることから、国の指針に基づき引き続き結核対策の技術的拠点としての役割を担っていく。			継続	
					結核のまん延防止に向け、医療機関等、関係機関と連携し、引き続き総合的な対策を推進する。	

2	所管室課	地域保健課	事業名	感染症予防事業		
事業概要						
感染症法に基づき、行政対応が必要な感染症に対する様々取組を行うことにより、感染症の予防及びそのまん延防止を図る。（結核を除く）						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
1 新型コロナウイルス感染症対策 (1) 同感染症 相談件数 市民等からの発熱等症状や受診先に関する相談対応 令和3年度 28,909件、令和4年度 34,172件、令和5年度 3,082件 (2) 同感染症 PCR実施件数 保健所や医療機関にて実施したPCR検査 令和3年度 27,112件、令和4年度 81,400件、令和5年度 10,854件 (3) 同感染症 陽性対応者数 積極的学疫学調査、療養期間の健康観察、SNSによる案内等 令和3年度 27,112件、令和4年度81,400件、令和5年度863件 (4) 同感染症発生に伴う施設調査（高齢者施設等） クラスター発生予防に向けた感染対策の指導、助言 令和3年度 73件、令和4年度 32件、令和5年度 4件 2 性感染症対策 (1) HIV等性感染症検査 希望者を対象としたHIV、梅毒、クラミジアの検査 令和3年度 56件、令和4年度 117件、令和5年度 131件 (2) 性感染症に関する予防啓発 ホームページ等での啓発や市内5大学等関係機関と連携した取組 令和3年度 2回、令和4年度 7回、令和5年度 10回		決算額 (千円)	1,022,363	1,452,283	275,427	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源 の 比率(%)	47.0	23.1	28.4	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		感染症法の改正に伴い、保健所設置市である本市においても、次の感染症危機に備えるため感染症予防計画を策定した。新興感染症発生時に迅速かつ適切に必要な対応ができるよう関係機関と連携し訓練や研修等を実施し、平時からの備えを確実に推進する。			継続	
					若年層対策も含め、引き続き、性感染症予防に関する効果的な啓発を強化する。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	342	施策	健康で安全な生活の確保
管理事業	生活衛生事業	所管部局	健康医療部

1	所管室課	衛生管理課	事業名	生活衛生事業				
事業概要								
食品衛生、環境衛生、専用水道・簡易専用水道等衛生管理指導								
活動実績				年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
衛生検査実施数				決算額 (千円)	7,737	12,673	13,843	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
令和3年度 令和4年度 令和5年度 食品衛生関係 180件 394件 331件 環境衛生関係 63件 93件 120件				一般財源 の 比率(%)	0.0	12.2	22.4	
施設立入検査実施数				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
令和3年度 令和4年度 令和5年度 食品衛生関係 1,264件 1,453件 1,327件 環境衛生関係 115件 180件 229件				令和5年5月から、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、社会活動が活性化したことにより、食品衛生・環境衛生に関する苦情・事故が増加し、今後もこの傾向が続くと予想される。そのため、食品衛生・環境衛生に係る衛生検査や施設の立入検査を効率的に行い、施設の適正な衛生管理の確保のため事業者等にわかりやすく的確な指導・助言を行う必要がある。 また、集団食中毒やレジオネラ症患者発生等の事故対応に係る検査費用の確保が必要となる。				継続

	所管室課		事業名					
事業概要								
活動実績				年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
				決算額 (千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
				一般財源 の 比率(%)				
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	342	施策	健康で安全な生活の確保
管理事業	精神保健事業	所管部局	健康医療部

1	所管室課	地域保健課	事業名	精神保健事業		
事業概要						
地域自殺対策、精神障がい者支援						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
1 地域精神保健の推進 (1) ところの健康相談(電話、面接、訪問等) 令和3年度…4,220件、令和4年度…3,576件、令和5年度…3,822件 (2) 措置診察立ち合い業務(措置入院となった数) 令和3年度…3件、令和4年度…6件、令和5年度…4件 (3) 精神科病院実地指導 令和3年度…2件、令和4年度…3件、令和5年度…2件 (4) 依存症対策 予防週間の啓発(ロビー展示や市報、SNS等)、大学生を対象にしたアルコール教室、関係機関向け研修等実施。 2 地域自殺対策 (1) 第2次吹田市自殺対策計画を策定した。 (2) 自殺対策推進庁内会議及び懇談会、関係機関連絡会議 令和3年度…3回、令和4年度…5回、令和5年度…9回 (3) 関係機関連絡会議(大学、高校、警察・消防等) 令和3年度…12回、令和4年度…1回、令和5年度…3回 (4) ゲートキーパー研修等参加者数 令和3年度…258人、令和4年度…363人、令和5年度…127人 (5) 普及啓発 予防週間・月間の啓発(展示・市報等)、ところの体温計の運用 (6) 自殺未遂者相談支援事業 令和3年度…398件、令和4年度…431件、令和5年度…389件		決算額(千円)	4,152	4,033	7,174	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)	96.9	93.3	73.9	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容	
		関係者が連携・協働して自殺対策を総合的に推進しているが、本市の自殺者数はコロナ禍以前に比べ、高い水準で推移している。自殺者数の年代別構成比では、大阪府や全国に比べ、20歳未満・20歳代の割合が高いこと、勤労世代の割合が高いことから、子供・若者への支援や勤労世代への支援を計画の重点施策に位置付けている。			継続	
					新たに策定した第2次吹田市自殺対策計画に基づき、関係機関と連携した取組をさらに推進していく。	

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
		決算額(千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	342	施策	健康で安全な生活の確保
管理事業	難病支援事業	所管部局	健康医療部

1	所管室課	地域保健課	事業名	難病支援事業		
事業概要						
難病患者地域支援対策推進事業 難病患者の療養上の不安解消を図るとともに、在宅療養に関する支援を実施する。						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 訪問相談・指導事業 要支援難病患者やその家族が抱える日常生活上及び療養上の悩みに対する相談や在宅療養に必要な医学的指導等を行うため、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等による、訪問相談・指導を実施。 令和3年度…5件、令和4年度…8件、令和5年度…8件		決算額(千円)	358	418	466	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)	56.0	43.1	61.2	
(2) 難病に関するWEB講演会 難病患者及び家族が、疾患や治療、生活に関する正しい情報を得ることで、療養生活に活かせるよう講演会を開催。 ・市域講演会 ※限定公開分の視聴回数(視聴会参加含む) 令和3年度…61回、令和4年度…31回、令和5年度…137回 【参考】令和5年度 一般公開含む総視聴回数 403回 ・広域講演会 ※北ブロック保健所分の全視聴回数 令和3年度…160回、令和4年度…132回、令和5年度…1,046回		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容	
		国の難病対策制度はあるものの、希少な疾患であり外見上分かりづらい症状や、個人により症状の出方や進行が異なることも多く、職場等社会的な理解はまだ十分に進んでいるとは言えない。すべての難病患者が安心して暮らせる環境づくりのため、患者、家族への支援とともに、市民に広く難病の理解を進めるための啓発を行うことが必要である。			継続	より多くの市民に周知啓発を行うため、ホームページ他SNS、講演会の一般公開等の機会も活用する。

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
		決算額(千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名